

平成28年度第3回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日とき	平成28年12月20日（火） 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	滝川市役所3階 301会議室
出席状況	【委員】 出席：石川委員長、山田副委員長、貝之瀬委員、浜田委員、高橋委員、本多委員、水戸委員 欠席：栗井委員、越後委員、藤本委員 【事務局】 市民生活部 暮らし支援課 横山課長、大橋係長、山本主任主事
議事内容	1 開会 2 評価シートの最終確認について 越後委員から指摘があった誤字・脱字の訂正箇所の説明を行った。 各委員から特に追加意見などがなかったため、最終案として審議を図った「評価シート」は確定とした。 各委員からの意見などは次のとおり。 委 員)：江部乙地区の「日本で最も美しい村」連合への加盟についてだが、江部乙で活動している市民団体や短大がそれぞれ別々に活動していることを知った。 事務局)：美しい村連合の構成員のメンバーには含まれている。「日本で最も美しい村」連合は資格のようなもの。きれいなまちが申請して認められるもので、まちぴか行動隊や商工会などが多彩な活動をしていること、きれいな風景があるということが相まった結果。イコールではないが関連性はある。 委 員)：美しい村連合は、行政の中で担当する所管があるのか。 事務局)：窓口はあるが、そこが主体となっているわけではない。あくまでも地域の盛り上げをサポートしている。 事務局)：事務局は、江部乙商工会が行っている。地元商店街や有志が集まってやっていく。 3 「滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書（案）」について 事務局から「評価する点」、「要望する点」についての説明を行った。 委員からの意見は以下のとおり。 委 員)：評価シートは、小型電子機器になっているが、ここでは電気機器になっている。 事務局)：小型電子・電気機器に統一する。 委 員)：再生可能エネルギーのところで、市内の状況がよくわからないが、札幌では、地下通路に再生可能エネルギーにかかわるパネルやポスターなどが飾られているが、滝川ではどうなっているのか？

事務局) : 例えば、太陽光発電であれば市役所 1 階ロビーに表示があり、再生可能エネルギーの周知になっていると思う。

委員) : 北ガスなら自家発電、住宅メーカーでも再生可能エネルギーだけで家の全ての電力を賄うなどの宣伝をしている。

滝川ガスのメガソーラーはあるが、あれは北電に売っているだけなのか？

自分たちが使っているのか、その行き先がわからない。

事務局) : メガソーラーは基本的に売却している。

委員) : 売却というか、電気自体は北電の電気と混ざり合って、皆さんの家庭に行っている。

再生可能エネルギーがあれば、北電が火力発電所で発電する電気量が減り、CO2排出削減となるので、環境保全につながる。

事務局) : 市としては、特定の商品を進めることは難しい。大きな意味で、再生可能エネルギー利用を前面に押し出していくのが重要になる。その関係で「エコたき」などの啓発を行い、市民が関心を持って、業者に聞きに行くなど自ら行動できるような流れになるのが好ましい。

なお、昨年度まで、家庭用太陽光発電の補助金などを行っていたが、家庭への太陽光発電の普及も進み、太陽光パネルの値段も下がってきたことから平成 27 年度で終了した。メガソーラーも拡大したことから、市民への周知もある程度進んだと思っている。市民に関心を持ってもらうことが一番大切。

委員) : 1 番にあった、ごみ分別の周知やごみを分別した後どのような処理をされているのかの情報をとるには、どのようにすればいいか。

事務局) : 平成 29 年度の話だが、A3 のごみのガイドブックを再度全戸配布を考えている。それ以外でもイベントなどでの周知を考えている。

委員) : ごみがどのように処理されて、どうなるのかを知りたいという思いがある。

事務局) : 今年度は無理だが、ごみの最終的な処理状況を市民が知ることで、「そういうことなら協力しよう」と思ってもらえることにつながるので、周知して行きたいと思う。まとまったものがないので、まとめる時間をもらいたい。

4 その他

(1) エコフェスタ in 西地区児童センター

(2) 体をあたためる料理教室 in 滝川高校

(3) 次回開催日について

委員からの意見などは特になし